

全国及び岡山県学力・学習状況調査結果の概要

学 力 面	学 習 状 況 面
<p>〈成果〉                      ○算数科では、昨年度と比べて、各学年で正答率が向上した。                      ○国語科では、第6学年の「書くこと」「記述式」の正答率は、全国平均を上回った。                      ○問題に最後まで取り組み、無回答率は低かった。</p> <p>〈課題〉                      ▲国語科では、昨年度と比べて、各学年で正答率が下降した。                      ▲算数科では、各学年で苦手な分野がある。苦手な分野は学年によって異なる。                      ▲複数の資料をもとに、必要な情報を探し、適切に答えることが苦手である。</p>	<p>〈成果〉                      ○朝食を毎日食べている児童が多い。                      ○将来の夢や目標をもっている児童が多い                      ○住んでいる地域の行事に参加している児童が多い。                      ○算数の勉強を好きな児童が多い。</p> <p>〈課題〉                      ▲自分にはよいところがあると思っている児童が少ない。                      ▲自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができる児童が少ない。                      ▲自分とちがう意見について考えるのが楽しいと感じる児童が少ない。</p>



改 善 策 学 校 で の 取 組
<p>①授業づくり                      ・児童に出番のある授業づくりや振り返りの在り方など、授業の基本について、全職員で検討する。                      ・ICT機器を活用しながら、個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けた効果的な授業実践に取り組む。</p> <p>②朝学習等を活用した補充学習                      ・たしかめシート、チャレンジテスト・タブレットドリルを活用する。                      ・毎週木曜日の朝学習では、全校で読書に取り組む。</p> <p>③自己肯定感の向上                      ・本校で設定した自己肯定感の行動指標を授業で位置づける。また、認めて、ほめて、励ます際に提示するなどの活用をする。                      ・振り返りアンケートを学期の初めと終わりに行い、自己肯定感向上の効果を検証をする。</p> <p>④家庭学習の定着                      ・宿題について、1週間に1回は担任がコメントを記入し、家庭学習意欲が高まるようにする。                      ・「チャレンジ寄島学園」や抜き打ちアンケートをもとに、自分や友達の家庭学習時間を知り、家庭学習意欲が高まるようにする。</p>
中 学 校 区 で の 取 組
<p>○「チャレンジ寄島学園」を中学校の試験期間に合わせて実施し、望ましい生活習慣の定着を図る。                      ○小中で統一して昨年度作成した「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい学習習慣の定着を図る。</p>
家 庭 ・ 地 域 へ の お 願 い
<p>○「家庭学習の手引き」を活用し、望ましい家庭学習の習慣が定着するように声掛けをしてください。                      ○規則正しい生活習慣が身に付くように協力してください。                      ○テレビを消して、親子で読書をする日を作りましょう。</p>